北海道大学　女性研究者支援室

Support Office for Female Researchers in Hokkaido University

振興調整費

FResHU

『輝け、女性研究者！活かす·育てる·支えるプランin北大』

文部科学省科学技術振興調整費(女性研究者支援モデル育成）委託事業　（平成18年度採択機関）

目標　20 % by 2020 (Triple Twenties計画）

北大全研究者の中の女性研究者比率を2020年までに20%に！

ポジティブアクション北大方式

教員人件費

部局管理分　全学運用分

女性教員を採用 ← 全学運用分より採用部局に ¼人件費を付与

付与ポイントで 昇任・採用ができる！

女性採用のインセンティブ
- 適材者がいれば積極的に採用
- 上級職ほど付与ポイントが多い
- 適材者がいなければ雇わなくてもよい

「ポジティブアクション北大方式」導入によって・・・
- ☑ 正規教員の女性採用率が＞25%になりました。
- ☑ 総長裁量の戦略的重点配分人件費を使って女性採用を「大学の活性化戦略」として推進。

産休等代替補助員

申請要件

当該年度中に産前・産後休暇、育児休業、介護休業を取得予定の者。若しくは、育児（主に就学前児童）又は介護に当たっている者。

助成内容

研究補助者を雇用する経費を助成（1人につき1名）
研究補助にのみ携わる学術研究員（週30時間以内）

病児保育サポートシステム

保育者グループとの提携で子供の病気や怪我に速やかに対応、自宅等で保育
対象：乳幼児・低学年学童を持つ本学の
女性の教職員・博士研究員
総長裁量経費で継続実施

女性研究者支援室

女性研究者活躍のための環境整備

- 女性研究者ネットワークの構築
- メンタリングシステムの構築
- 女性研究者が抱える問題やワークライフバランス等への意識改革プロモーション
- 産休・育休などの研究教育代替・補助のための人材需給システムの構築
- 保育園、育児休業制度等の改善・利活用の促進
- 北大赴任者の研究者パートナーのキャリア継続支援（若手研究者カップルの同居支援）
- ポジティブアクション北大方式による女性教員起用の採用・昇任促進
- 女子大学院生・女子学生の博士課程進学および研究者チャレンジ支援
- 女子大学院生による女子中高生の理系進路選択の展開（道内各地）
- 離職中の潜在的女性研究者の復帰支援

女性研究者増員のための具体的取り組み

女性研究者ネットワークの構築

女性研究者の横のつながり
異部局・異分野間の交流

女性研究者の縦のつながり
世代間の交流

女性研究者ネットワーク　メンタリングシステム　ロールモデル紹介

Ambitious Models　Friendly Models

- 交流会・意見交換会の開催。
- ロールモデルの提示

女性研究者を孤立させない

研究者パートナー支援

男性研究者：パートナーの～10%が研究者
女性研究者：パートナーの～50%が研究者

若手研究者の流動性　次世代育成の促進

若手研究者カップルの同居支援策

研究・教育人材需給システムの構築

- 学内・近隣での研究キャリア継続の可能性を提示・相談
- 産休・育休期間の教育・研究代替・補助人材の確保
- 研究者パートナーのための研究ポストの創設

「理系応援キャラバン隊」による出前実験イベント

理科する「リカちゃん」目指してLet's Try!

Girls, Be Cheered!

理科実験に必要な機材を中学・高校へ寄贈する「ベルマーク運動」

女性研究者支援室のベルマーク運動
使用済みの インク・トナーカートリッジ を集めています。
EPSON Canon
女性研究者支援室では、女子中高生の理系進路選択支援活動の一環として ベルマーク を集めています。
理科教育用の機材を購入し、道内の中学校・高等学校の設備充実を応援します。
1 使い終わったカートリッジを集める
2 北大生協が回収しエプソン・キヤノンへ送る
3 ベルマーク点数の証明書が送られてくる
エプソンまたはキヤノンのインク・トナーカートリッジを回収・注文にお伺いします。
北大生協 会館店1階・北部店2階の回収BOX(ベルマーク用)でも回収を行っております。
北海道大学女性研究者支援室
電話：011-706-3625　内線：3625
E-mail: freshu@jimu.hokudai.ac.jp
URL: http://freshu.ist.hokudai.ac.jp

国際シンポジウムを開催しました

FResHU International Symposium
"Sustainable Should Be Female Scientists' Career!"
Improvement of the environment for female scientists to continue their academic careers with a long-term vision in spite of facing various life events, such as marriage, childbirth, rearing and nursing care of children, will be discussed from the viewpoint of gender equality and work-life balance.
Date: July 10 - 12, 2008
Place: Hokkaido University
Registration: required
Charge: free
Programme
• Keynote Speeches & Panel Discussions •
Positive/Affirmative Action - Acceptable or Unacceptable!
Beyond Glass Ceiling - Cheer Up & Career Up!
Boys, Be Integrated! - Substantial Partnership
Work-Life Balance - Dual Career & Life of Academic Couples
Encourage Next Generations in Science
• Poster Exhibition of the Leading Programs of Female Researchers in Japan •
Speakers to be invited
• Special Lecture •
Kuniko Inoguchi
• Speakers •
Alice Hogan　Maya Widmer
Hisako Ohtsubo　Mariko Ogawa
Dominique Soldati-Favre　Thierry Soldati
Mari Jibu　Philipp Gebhardt
• Host Speakers •
Kenta Ogawa　Maki Tani　Sanae Ariga

母さんの「か」は科学者の「か」

2008 Summer Camp　～北海道ニセコにて～

子供の目から「科学者のおかあさん」について語りました。北大見学、ラフティングにディスカッション。思いで深いキャンプでした！